

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	2019年11月12日
【四半期会計期間】	第74期第2四半期（自 2019年7月1日 至 2019年9月30日）
【会社名】	イサム塗料株式会社
【英訳名】	Isamu Paint Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 北村 倍章
【本店の所在の場所】	大阪市福島区鷺洲2丁目15番24号
【電話番号】	(06) 6458 - 0036
【事務連絡者氏名】	総務部長 糸洲 治夫
【最寄りの連絡場所】	大阪市福島区鷺洲2丁目15番24号
【電話番号】	(06) 6453 - 4511
【事務連絡者氏名】	総務部長 糸洲 治夫
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第73期 第2四半期 連結累計期間	第74期 第2四半期 連結累計期間	第73期
会計期間	自 2018年4月1日 至 2018年9月30日	自 2019年4月1日 至 2019年9月30日	自 2018年4月1日 至 2019年3月31日
売上高 (千円)	4,005,902	3,832,167	7,945,368
経常利益 (千円)	442,452	434,995	831,775
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	301,505	307,921	555,213
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	345,670	297,262	545,673
純資産額 (千円)	14,783,649	15,182,845	14,935,695
総資産額 (千円)	18,105,361	18,085,475	18,308,335
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	158.12	161.50	291.18
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	79.7	81.9	79.6
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	156,936	121,246	640,562
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	334,170	331,626	459,409
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	57,627	56,145	112,723
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (千円)	2,506,960	2,543,726	2,810,251

回次	第73期 第2四半期 連結会計期間	第74期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 2018年7月1日 至 2018年9月30日	自 2019年7月1日 至 2019年9月30日
1株当たり四半期純利益 (円)	78.06	81.67

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含んでおりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善等を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方で米国政権の政策動向や通商問題、欧州における政治不安の再燃や中東情勢に起因する原油価格の動向、相次ぐ自然災害の経済に与える影響など、当社グループを取り巻く環境は予断を許さない状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループは、自動車補修用市場でのシェア拡大を図るため、顧客ニーズに沿った環境対応型塗料や高機能性塗料で販路拡大に注力するとともに、大型車両分野や工業用分野などの新規市場開拓や建築用塗料の受注増加に向けた積極的な営業活動を展開いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の財政状態及び経営成績は以下のとおりとなりました。

財政状態

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比較して、資産は2億23百万円減少、負債は4億70百万円の減少、純資産は2億47百万円増加しました。

資産の増加の主なものは、有価証券2億3百万円、減少の主なものは受取手形及び売掛金1億76百万円、現金及び預金1億67百万円であります。

負債の減少の主なものは、電子記録債務2億19百万円、役員退職慰労引当金95百万円であります。

また、純資産の増加の主なものは、利益剰余金2億60百万円となっております。

経営成績

当第2四半期連結累計期間の売上高は、38億32百万円（前年同四半期比4.3%減少）となりました。また、利益面におきましては、営業利益は3億64百万円（前年同四半期比0.1%増加）、経常利益は4億35百万円（前年同四半期比1.7%減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億8百万円（前年同四半期比2.1%増加）となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

塗料事業は、売上高37億81百万円（前年同四半期比4.4%減少）、営業利益は3億38百万円（前年同四半期比0.4%増加）であります。

その他は、売上高51百万円（前年同四半期比1.0%減少）、営業利益は25百万円（前年同四半期比4.2%減少）であります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ2億67百万円減少し、25億44百万円（前年同四半期末25億7百万円）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は、1億21百万円（前年同四半期1億57百万円）となりました。

その主な要因は、増加した資金では税金等調整前四半期純利益4億18百万円、売上債権の減少1億76百万円、減少した資金では仕入債務の減少2億35百万円、法人税等の支払額1億20百万円などによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は、3億32百万円（前年同四半期3億34百万円）となりました。

その主な要因は、増加した資金では定期預金の払戻5億円、保険積立金の払戻1億15百万円、減少した資金では定期預金の預入6億円、投資有価証券の取得3億円などによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の減少は、56百万円（前年同四半期58百万円）となりました。

その主な要因は、配当金の支払額48百万円などによるものであります。

(3) 経営方針・経営戦略等

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題については、重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、71百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究活動の状況に重要な変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	9,600,000
計	9,600,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年9月30日)	提出日現在発行数 (株) (2019年11月12日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	2,400,000	2,400,000	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数 100株
計	2,400,000	2,400,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
2019年7月1日～ 2019年9月30日		2,400,000		1,290,400		1,209,925

(5) 【大株主の状況】

2019年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式(自己 株式を除く。)の 総数に対する所有 株式数の割合 (%)
北村初美	大阪市福島区	443	23.24
北村健	同上	442	23.19
イサム塗料栄勇会	大阪市福島区鷺洲2-15-24	243	12.76
第一生命保険株式会社 (常任代理人 資産管理サービス 信託銀行株式会社)	東京都千代田区有楽町1-13-1 (東京都中央区晴海1-8-12)	93	4.89
長瀬産業株式会社	東京都中央区日本橋小舟町5-1	36	1.88
株式会社光通信	東京都豊島区西池袋1-4-10	27	1.44
石原産業株式会社	大阪市西区江戸堀1-3-15	24	1.25
イサム塗料従業員持株会	大阪市福島区鷺洲2-15-24	23	1.21
株式会社ダイセル	大阪市北区大深町3-1	21	1.13
BBH FOR FIDELITY PURITAN TR: FIDELITY SR INTRINSIC OPPORTUNITIES FUND (常任代理人 株式会社三菱UFJ銀行)	245 SUMMER STREET BOSTON, MA 02210, USA (東京都千代田区丸の内2-7-1)	18	0.98
計	-	1,373	72.02

(注) イサム塗料栄勇会は取引先を対象とした持株会であります。

(6) 【議決権の状況】
 【発行済株式】

2019年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 493,300	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 1,893,400	18,934	-
単元未満株式	普通株式 13,300	-	-
発行済株式総数	2,400,000	-	-
総株主の議決権	-	18,934	-

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式が71株含まれております。

【自己株式等】

2019年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
イサム塗料株式会社	大阪市福島区鷺洲2丁目15番24号	493,300	-	493,300	20.55
計	-	493,300	-	493,300	20.55

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、清稜監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,820,251	4,653,726
受取手形及び売掛金	2,447,726	2,271,421
有価証券	900,022	1,102,813
商品及び製品	915,250	837,705
仕掛品	124,250	140,991
原材料及び貯蔵品	186,622	196,554
その他	40,283	54,804
貸倒引当金	12,200	10,012
流動資産合計	9,422,204	9,248,002
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,755,970	2,765,598
減価償却累計額	1,681,981	1,713,100
建物及び構築物(純額)	1,073,989	1,052,498
機械及び装置	567,149	575,061
減価償却累計額	420,161	440,157
機械及び装置(純額)	146,988	134,904
工具、器具及び備品	426,997	431,785
減価償却累計額	403,396	402,602
工具、器具及び備品(純額)	23,601	29,183
土地	1,344,467	1,344,467
リース資産	59,569	59,569
減価償却累計額	38,649	43,534
リース資産(純額)	20,920	16,035
有形固定資産合計	2,609,965	2,577,087
無形固定資産		
ソフトウェア	15,075	12,606
施設利用権	1,017	628
電話加入権	6,555	6,555
リース資産	823	177
無形固定資産合計	23,470	19,966
投資その他の資産		
投資有価証券	4,256,346	4,322,418
長期預金	1,200,000	1,200,000
保険積立金	601,177	517,075
繰延税金資産	179,482	185,414
その他	23,948	22,389
貸倒引当金	8,257	6,876
投資その他の資産合計	6,252,696	6,240,420
固定資産合計	8,886,131	8,837,473
資産合計	18,308,335	18,085,475

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	435,687	420,165
電子記録債務	1,298,212	1,079,057
リース債務	11,318	8,323
未払金	207,722	121,622
未払法人税等	130,596	102,930
未払消費税等	25,511	37,475
前受金	4,103	4,184
預り金	73,646	63,295
賞与引当金	116,007	113,778
その他	44,726	42,431
流動負債合計	2,347,528	1,993,260
固定負債		
長期預り保証金	262,141	265,336
リース債務	12,405	9,347
繰延税金負債	32,591	40,709
役員退職慰労引当金	163,257	68,636
修繕引当金	82,500	86,250
退職給付に係る負債	472,218	439,092
固定負債合計	1,025,112	909,370
負債合計	3,372,640	2,902,630
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,290,400	1,290,400
資本剰余金	1,210,130	1,210,130
利益剰余金	12,777,653	13,037,908
自己株式	981,269	981,269
株主資本合計	14,296,914	14,557,169
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	269,595	249,648
その他の包括利益累計額合計	269,595	249,648
非支配株主持分	369,186	376,028
純資産合計	14,935,695	15,182,845
負債純資産合計	18,308,335	18,085,475

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	4,005,902	3,832,167
売上原価	2,744,005	2,600,883
売上総利益	1,261,897	1,231,284
販売費及び一般管理費	898,533	867,667
営業利益	363,364	363,617
営業外収益		
受取利息	501	207
有価証券利息	9,216	6,400
受取配当金	10,099	10,111
受取賃貸料	26,273	26,222
塗装情報サービス会費	11,979	11,520
負ののれん償却額	5,786	-
貸倒引当金戻入額	2,449	228
その他	20,096	17,446
営業外収益合計	86,399	72,134
営業外費用		
支払利息	110	96
支払補償費	1,541	354
たな卸資産廃棄損	4,114	104
その他	1,546	202
営業外費用合計	7,311	756
経常利益	442,452	434,995
特別損失		
たな卸資産廃棄損	-	16,897
災害による損失	1,326	-
特別損失合計	1,326	16,897
税金等調整前四半期純利益	441,126	418,098
法人税、住民税及び事業税	128,347	91,237
法人税等調整額	1,768	9,654
法人税等合計	130,115	100,891
四半期純利益	311,011	317,207
非支配株主に帰属する四半期純利益	9,506	9,286
親会社株主に帰属する四半期純利益	301,505	307,921

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	311,011	317,207
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	34,659	19,945
その他の包括利益合計	34,659	19,945
四半期包括利益	345,670	297,262
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	336,163	287,973
非支配株主に係る四半期包括利益	9,507	9,289

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	441,126	418,098
減価償却費	70,571	66,111
負ののれん償却額	5,786	-
賞与引当金の増減額(は減少)	290	2,229
修繕引当金の増減額(は減少)	3,750	3,750
貸倒引当金の増減額(は減少)	2,364	3,570
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	15,236	94,621
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	4,035	33,126
受取利息及び受取配当金	19,815	16,718
支払利息	110	96
たな卸資産廃棄損	4,114	17,001
売上債権の増減額(は増加)	5,009	176,306
たな卸資産の増減額(は増加)	7,748	33,870
仕入債務の増減額(は減少)	80,436	234,677
未払金の増減額(は減少)	134,179	89,512
未払消費税等の増減額(は減少)	35,547	11,964
その他	30,287	35,310
小計	266,109	217,433
利息及び配当金の受取額	24,864	23,485
利息の支払額	110	96
法人税等の支払額	133,927	119,576
営業活動によるキャッシュ・フロー	156,936	121,246
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	310,000	600,000
定期預金の払戻による収入	210,000	500,000
有形固定資産の取得による支出	13,646	26,359
無形固定資産の取得による支出	2,700	-
投資有価証券の取得による支出	300,599	300,297
保険積立金の積立による支出	24,122	20,248
保険積立金の払戻による収入	105,000	115,000
その他	1,897	278
投資活動によるキャッシュ・フロー	334,170	331,626
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の純増減額(は増加)	601	-
リース債務の返済による支出	6,987	6,053
配当金の支払額	47,592	47,645
非支配株主への配当金の支払額	2,447	2,447
財務活動によるキャッシュ・フロー	57,627	56,145
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	234,861	266,525
現金及び現金同等物の期首残高	2,741,821	2,810,251
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,506,960	2,543,726

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
従業員給料	261,622千円	253,393千円
貸倒引当金繰入額	86千円	-千円
賞与及び賞与引当金繰入額	75,023千円	71,608千円
役員退職慰労引当金繰入額	10,094千円	9,334千円
退職給付費用	19,167千円	14,069千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
現金及び預金勘定	4,416,960千円	4,653,726千円
預入期間が3か月を超える定期預金	1,910,000千円	2,110,000千円
現金及び現金同等物	2,506,960千円	2,543,726千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月28日 定時株主総会	普通株式	47,672	25	2018年3月31日	2018年6月29日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年11月8日 取締役会	普通株式	47,668	25	2018年9月30日	2018年12月10日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月27日 定時株主総会	普通株式	47,666	25	2019年3月31日	2019年6月28日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年11月7日 取締役会	普通株式	47,666	25	2019年9月30日	2019年12月10日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	塗料事業				
売上高					
外部顧客への売上高	3,954,430	51,472	4,005,902	-	4,005,902
セグメント間の内部売上高 又は振替高	62	-	62	62	-
計	3,954,492	51,472	4,005,964	62	4,005,902
セグメント利益	336,845	26,519	363,364	-	363,364

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	塗料事業				
売上高					
外部顧客への売上高	3,781,203	50,964	3,832,167	-	3,832,167
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	3,781,203	50,964	3,832,167	-	3,832,167
セグメント利益	338,205	25,412	363,617	-	363,617

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
1株当たり四半期純利益	158.12 円	161.50 円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	301,505	307,921
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	301,505	307,921
普通株式の期中平均株式数(株)	1,906,785	1,906,629

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

第74期（2019年4月1日から2020年3月31日まで）中間配当については、2019年11月7日開催の取締役会において、2019年9月30日の最終の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額.....	47,666千円
1株当たりの金額.....	25円
支払請求の効力発生日及び支払開始日.....	2019年12月10日

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年11月1日

イサム塗料株式会社

取締役会 御中

清稜監査法人

代表社員 公認会計士 船越 啓仁 印
業務執行社員

業務執行社員 公認会計士 森本 了太 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているイサム塗料株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、イサム塗料株式会社及び連結子会社の2019年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しています。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。